

# 同志社大学突破カリキュラム

傾向と対策

学習カリキュラム

使用教材

基礎戦略

## ◎ 年間スケジュール

	2月～3月	4月～5月	6月～7月	夏休み	9月	10月	11月	12月	1月
学校行事									
トライ対策スケジュール	準備期 英:ターゲット1900 数:スタンダード数学 国:565パターン集・問題集 社:速読読解 世界史(日本史・倫理)/学研	基礎力 英:ターゲット1900 数:スタンダード数学 国:古文上達テーマ56 社:世界史年代ワンフレーズnew/パレード	赤本		応用力養成期 英:ターゲット1900、同志社大の英語 数:チャート式			発展力養成期 センター対策問題集(受験する場合)	実践力養成期 赤本
	三者面談				三者面談 志望校相談		三者面談 志望校相談		
ポイント		【英語】4月～7月基礎力養成期:文法事項の復習・理解・リズム・やり方の習得。模試受講により学力傾向の把握。「ターゲット」単語500語、熟語400目標			【英語】基礎力定着・応用力養成期:文法事項の繰り返し学習による基礎知識の定着。中・長文読解演習による解答力の養成、文章・単語の読み慣れ。「ターゲット」単語1000語、熟語700語目標。			【英語】実践力養成期:過去問を使っての大学別対策。時間を計った過去問演習等による実践力の養成、解答ノウハウの習得。「ターゲット」単語1500語、熟語1000語目標	

## ◎ このような生徒にお勧め!

- ・同志社大学に合格したい現役生から浪人生まで。
- ・弱点克服をしたい。
- ・記述形式の解答がうまくできない。

## ◎ 対象エリア

京都府  
対象学年 高校1年生～高校3年生(中高一貫校含む)  
指導期間 お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

### 【コースの特徴】

- (1) 長年関関同立受験を指導しているプロにポイントや経験を学べる。
- (2) 関関同立の合格へ導くために、教育プランナーが担当につき、的確なアドバイスを受けることができる。
- (3) 合格最低点を攻略し、どの教科で何点取るかなど過去問分析・演習から目標を明確にする。

### 【対応教師】

プロ: トライが誇る最高の教師陣  
セレクトD: 関関同立生など経験のある大学生。実際に合格した教師から合格するためのノウハウを教えてもらい、進めていく。

## ◎Data Mining 【傾向と対策】

英語	<p>&lt;問題構成&gt;長文読解問題2題、会話文問題1題の計3題、試験時間100分。長文読解で英文和訳1問、会話文で和文英訳が1問、記述式だが、その他は選択式になっている。</p> <p>&lt;出題内容&gt;【読解問題】長文読解はそれほど難解なものではなく、語彙は難しいものが含まれるが前後関係から理解することが求められる。英文量は多く速読力が求められる。空所補充、同意表現については標準的な単語、熟語を知っていることは勿論、文章の意味を理解し、文脈を正確に押さえることが大切。【会話文】基本的な会話表現の知識さえ持っていれば空所補充の問題は比較的容易に解くことができる。</p>
数学	<p>&lt;問題構成&gt;文系:試験時間75分、大問3題。3題中1題は空所補充、他2題は記述式。理系:試験時間100分で大問4題。4題中1題は空所補充、他の3題は記述式。</p> <p>&lt;出題内容&gt;文系:出題範囲は「数学Ⅰ・Ⅱ、数学A・B(数列・ベクトル)」。例年3題中1題は微積分が出題されている。理系:出題範囲は「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(数列・ベクトル)・C(行列とその応用、式と曲線)」数Ⅲ・Cからの出題が中心で微積分が重点項目となっている。&lt;難易度&gt;文系:教科書の例題レベルで標準的。理系:文系と変わらず教科書レベル。数Ⅲ・Cの融合問題は二次曲線が題材として扱われることが多い。</p>
日本史	<p>&lt;問題構成&gt;2011年は大問4題構成となった。解答個数は61個で例年とほぼ変化なし。試験時間75分。解答方法も例年同様記述28個、選択法33個でほぼ半分ずつ。</p> <p>&lt;出題内容&gt;時代別に見るとかなり広い時代が扱われている。2011年度は古墳時代から明治までであったが、こういった傾向が定着する可能性は低い。今後も戦後史までの出題に備えた学習の必要性があり、政治史、文化史、外交史の比重が高く社会・経済史の出題はわずかだが、出題されないと考えることは危険である。</p>
国語	<p>&lt;問題構成&gt;現代文1題、古文1題の計2題。試験時間75分。現代文90点、古文60点という点数配分。設問は選択式が主体で記述式は現代文・古文ともに各1問、それぞれ40字と30字で主題の理解に関わる内容説明や主旨を問われる。</p> <p>&lt;出題内容&gt;現代文:評論や随筆の出題が多く、主題は政治・経済、文化・芸術・化学など多様。設問は全体的に高度で丁寧な読解力が試される。選択肢はよく考えられており、受験生の実力を十分に反映するものになっている。記述式の内容説明や主旨理解が頻出で、指定字数にまとめる表現力が問われる。古文:中古～中世の物語系統の作品からの出題が多い。記述は指示された内容を簡潔にまとめる問題である。難易度は記述式を除いて標準的。</p>
基礎戦略	<p>①過去問の徹底分析! 志望校として設定した時点で2～3年度分解いてみるのが重要。そこでゴール地点のレベルを感じ、突破するための計画を立てよう。</p> <p>②同志社模試(関関同立模試)の有効活用! 模試を受ける際の目標点数を5割程に設定する。毎年総合で5割程度の得点率でA判定が出る。モチベーションのアップと、基礎・標準問題を完璧にとりきれば、5割程度の得点が自然と集まるので本番をイメージしつつ点数をかき集めるつもりで臨む。試験終了後は苦手科目や苦手分野を潰すために必ず復習する。どこか1つでも穴があると合格の可能性が低下する。</p>